

平成 19 年度 第 12 回まちづくり委員会議事録

開催日時：平成 20 年 1 月 25 日

18：30～

開催場所：コミュニテールーム

1. 高尾委員長より挨拶

2. 今回の議題

① 提案事項の確認

* 運営協議会の活性化への提案

その 2 各部会の組織改善（案） 資料に基づき説明

* 事務局長の服務に関する提案（案） 資料に基づき説明

- ・ 事務局長を役員とする。
- ・ 役員選考規程で選任・選出の規則を見直す。
- ・ 選考委員の中に会計監事と事務局長は除く。
- ・ 7 条（役員の選出）について検討。

* 規約改正（案） 資料に基づき説明

- ・ 文言の整理・統一を検討。

② 中長期のテーマについて 協議会・委員会・部会の活性化 資料に基づき説明

- ・ 日の里のまちづくりの方向性
- ・ まちづくりの構成要素
- ・ 協議会の運営管理の基盤の強化
- ・ 協議会のまちづくりの実行目標
- ・ まちづくりの課題
- ・ 計画にもとづく事業活動
- ・ 部会の事業計画・事業報告
- ・ 年度／定例事業計画の構成
- ・ 新規事業計画の目次
- ・ 広報部会の事業計画（例）
- ・ 計画にもとづく事業活動の利点
- ・ 今後の取り組みの方向性
- ・ 参考／新規案件の想定事例

※以上のことを念頭において来年度の活動に役立てて努力してもらいたい。

市：まちづくり計画に日の里の課題がある。

- ・総論的なものだが、具体的に取り組んでいってはどうか。
- ・まちづくり計画の中で議題に入っている中で取り組んでいってはどうか。
- ・また、まちづくり計画の中で入っていない議題が出たときはまちづくり計画に入れていくようにしてはどうか。
- ・この場で議論するのは総論ではなく、各論のほうがよいのではないか。

《部会の活性化と現状について》

- ・各部会が目標・目的を出してまとまらないと出来ないのではないか。
- ・やりたいことは何かを話し合っただろうか。
- ・各部会で方向性をきちんと把握することが必要ではないか。
- ・やれることからやらないとついていけない人も出てくるのではないか。
- ・部会の中で各種団体も含めて次年度計画を立てるのがよいのではないか。
- ・出来ないのではなく、やり方がわからないのではないか。
- ・新しい人でも分かるようなガイドラインを作る事で活性化に繋がるのではないか。
- ・活動に対しての反省がないのではないか

市：日の里の良い点は各町内会の代表がコミュニティの部会に出てくる
→自治会にも広がる。

- ・まちづくりの案件をどのようにやればいいのかわからない。
→まちづくり計画の中にある。→手順があればいいのではないか。
- ・新しいことを壊してするのか、増やしてするのか
効果があるのか、ないのか いいのか、悪いのかの議論をすべきでないか。
- ・実行委員会形式にしてもよいのではないか。
- ・人がみてわかる活動・参加できる活動をしてはどうか。
- ・ガイドラインを作れば継続していくのではないか。
→ルールにのるためのガイドライン 取り掛かりやすい参考資料的なもの。

③ まちづくり委員会 会則 内容検討

- ・コミュニティ運営協議会の検討も含む。(組織図の整理を検討)
- ・6条の小委員会の設置について検討。
- ・文言の整理・統一を検討。

3. 次回検討事項

- ・本年度の活動報告及び来年度の活動方針

広報部を参考とした活動の進め方のガイドラインを提出します。

※次回まちづくり委員会は2月26日(火) 18:30～

出席者

高尾（委員長）・松尾（副委員長）・波多江（9丁目）・岩崎（5丁目）・中村(4丁目)
青木（1丁目）・那須（9丁目）・吉原（4丁目）・宮本（事務局）
市コミュニティ課：中村・吉永

久芳（書記）

欠席者

内田（3丁目）・柳瀬(3丁目)